

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	血液安全・安定供給等推進事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局			作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	血液対策課			課長 一瀬 篤	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(昭和31年6月5日法律第160号)第3条、第4条			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成25年7月23日厚生労働省告示第247号)</li> <li>平成29年度の献血の推進に関する計画(平成29年3月31日厚生労働省告示第118号)</li> <li>平成29年度の血液製剤の安定供給に関する計画(平成29年3月31日厚生労働省告示第119号)</li> </ul>				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	血液製剤の安全性向上、血液製剤の安定供給の確保、献血によって得られた血液による国内自給の確保及び適正使用の推進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液製剤の安全性向上を図るため、新興感染症など新たなリスクに対する血液のスクリーニング手法の確立や、血液の安全性を確保するための核酸増幅検査(NAT)が適切に実施されているか、精度管理等を国立感染症研究所において実施する。</li> <li>将来にわたる血液の安定供給のため、都道府県等との協議会や献血運動推進全国大会の開催、献血推進の教育・啓発資料の作成、啓発活動を行う。</li> <li>血漿分画製剤の国内自給体制の整備を図るため、我が国における製造・供給体制の検討や、外国メーカーの状況など海外事業の調査を行う。</li> <li>全国の医療機関における血液製剤の使用実態や適正使用に向けた体制整備を状況調査し、各医療機関に対して適正使用の取組を行うよう働きかける。</li> </ul>								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	127	138	121	102	120		
	執行額	86	87	95					
	執行率(%)	68%	63%	79%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	68%	63%	79%						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医薬品審査等業務庁費	59	77	近年、10~20代の献血率が減少傾向であることから、献血の普及啓発に努める必要があるため、献血推進普及に関する事業の医薬品審査等業務庁費を増加したことによるものである。					
	医薬品等試験調査委託費	34	34						
	職員旅費	6	6						
	委員等旅費	2	2						
	諸謝金	1	1						
	計	102	120						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	毎年度、血液不足が生じないよう、需給予測に沿って必要な血液を献血により確保する。	毎年度、献血により確保された血液の量。単年度ごとに需給予測から次年度の目標値を算出するため、中間目標の設定は困難。	成果実績	万L	195	193	集計中	-	-
		目標値	万L	205	199	201	-	-	
		達成度	%	95.1	97	集計中	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	血液量:平成28年版血液事業報告								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	毎年7月に実施される「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターの配布	活動実績	枚	38,533	38,943	39,553	-	-	
		当初見込み	枚	38,533	38,943	39,553	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	X:安定供給確保対策費(円)/Y:確保された血液量(万L)	単位当たりコスト	円	180,026	148,918	140,686	-		
		計算式	X/Y	35,105,142/195	28,741,249/193	28,277,870/201	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	安全な血液製剤を安定的に供給すること(1-7)									
	施策	健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること(1-7-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		安定供給に必要な血液量の確保状況	実績値	万L	195	193	集計中				
			目標値	万L	205	199	201				
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		安定供給に必要な原料血漿の量の確保状況	実績値	万L	92.4	90.9	集計中				
			目標値	万L	92	91	95				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	感染症の発生等を踏まえた血液製剤の安全体制の強化、献血に対する意識の向上や献血者が安心して献血できる環境の整備、血漿分画製剤の国内自給体制の整備、医療機関における血液製剤の使用実態の把握と適正使用に向けた体制整備を行う。毎年度、献血により確保すべき血液の目標量の90%以上を確保(平成28年度目標量 201万リットル)										
改革項目 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-	-			
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
成果実績		-	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

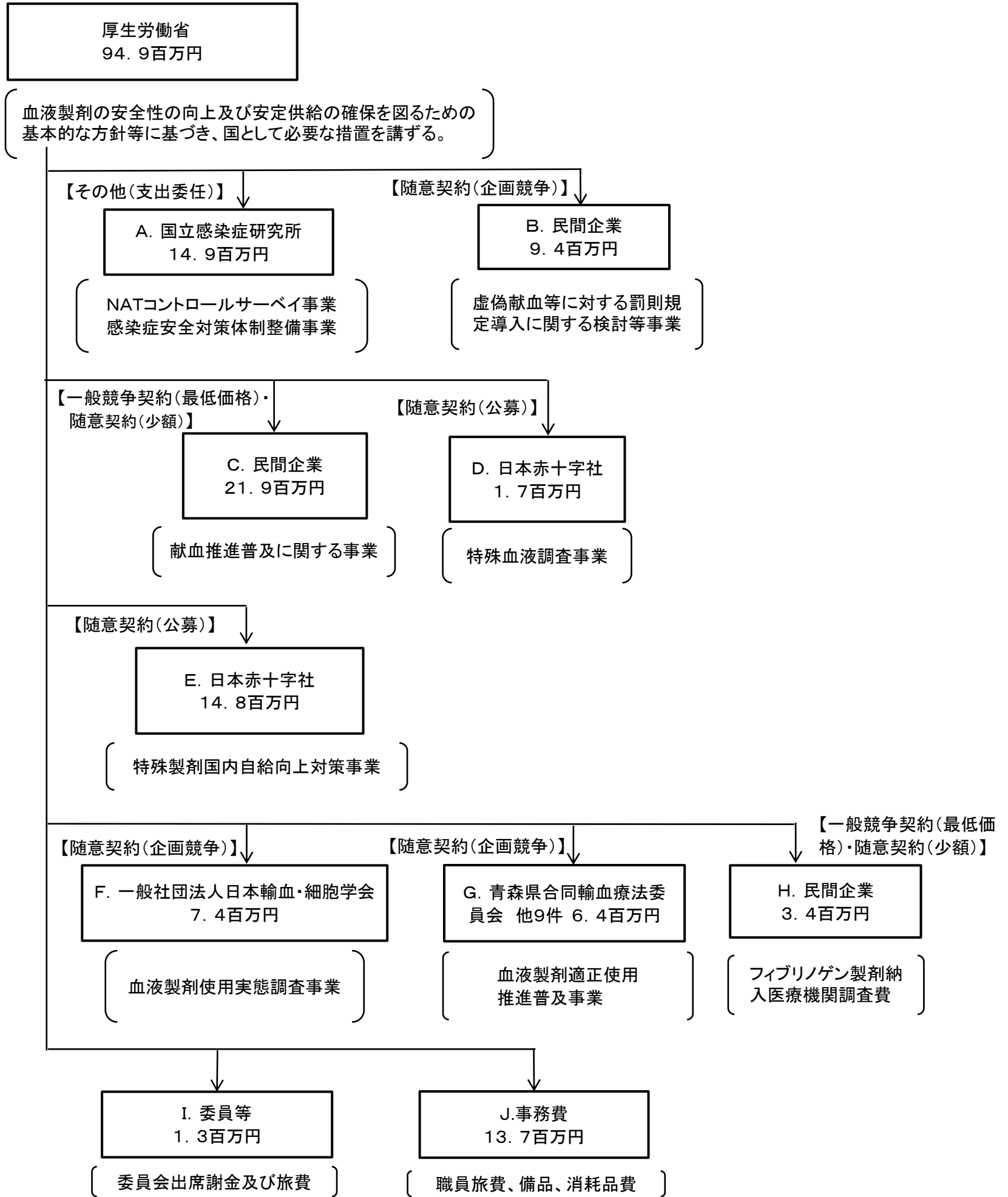
事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	血液製剤は医療にとって必要不可欠なものであり、その血液製剤の安全性の向上、安定供給、適正使用の推進を図るための事業を実施することは、血液法に規定された国の責務である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	血液法の規定する国の責務を果たすため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進を図るための事業の実施は、国民の保健衛生の向上を図る上で優先度の高い事業であると考えられる。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	随意契約もあるが、競争性を確保するため、一般競争入札及び企画競争も利用し、支出先を選定している。採血事業者以外では参入が困難であると考えられる事業があるため、公募調達方式による契約も実施している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	コスト削減に努めており、妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については、必要な経費に限定して支出している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	国内自給率が極めて低い抗HBs免疫グロブリンの原料血漿を得るため、HBs抗体価の高いB型肝炎ワクチン接種者に追加ワクチン接種し、高抗体価保持者の選定及び名簿を作成する事業において、ワクチン接種対象者が当初の予定を下回ったため不用が発生した。 (計画)3,500人 → (実績)2,598人
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	献血による血液不足が生じていないことから、成果目標に対する成果実績は見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みとおりの活動実績である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	「愛の血液助け合い運動」等に協力いただく都道府県その他関係機関等に幅広く広報ポスターを配布することにより、国民に周知を図り、献血量の確保を可能としている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進により、国民の保健衛生の向上を図ることを目的として行っているものであり、事業内容及び支出先について根拠法令に照らしも適切であると考えられる。また、成果実績である献血による血液確保量は過去3年とも目標量の95%以上を達成しているとともに、活動実績についても毎年7月に実施する「愛の血液助け合い運動」において啓発宣伝用ポスターを3万9千枚以上配布するなど、積極的に広報を行うことにより、血液量の確保を可能にしており、成果実績、活動実績ともに適正であると考えられる。	
	改善の方向性	現状、目標とすべき血液確保量は国内の献血により確保できているが、若年層の献血者数の減少が目立っている。そのため、将来の献血基盤を支える若年層に献血の意義等を理解してもらい、将来にわたって献血に協力してもらおうためにも、効果的な啓発活動の見直しを図っていく必要があると考えられる。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	血液製剤の安全性向上、血液製剤の安定供給の確保、献血によって得られた血液による国内自給の確保及び適正使用の推進に必要な経費であり、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めてまいります。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	226	平成23年度	204	平成24年度	171
平成25年度	新25-013	平成26年度	213	平成27年度	222
平成28年度	221				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.国立感染症研究所			B.ウィップアンドアソシエイツ(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	試験検査費	感染症安全対策体制整備事業	11.9	雑役務費	虚偽献血等に対する罰則規定導入に関する検討等事業	9.4
	試験検査費	NATコントロールサーベイ事業	3			
	計		14.9	計		9.4
	C.(株)アイネット			D.日本赤十字社		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	印刷製本費	献血についての副読本 印刷	8.1	試験検査費	特殊血液調査事業	1.7
	計		8.1	計		1.7
	E.日本赤十字社			F.一般社団法人日本輸血・細胞学会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
試験検査費	特殊製剤国内自給向上対策事業	14.8	雑役務費	血液製剤使用実態調査事業	7.4	
計		14.8	計		7.4	
G.青森県合同輸血療法委員会			H.(株)人材バンク			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
雑役務費	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	雑役務費	フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口等業務	3.1	
計		0.7	計		3.1	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

## 支出先上位10者リスト

### A.国立感染症研究所

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 国立感染症研究所	-	感染症安全対策整備事業(支出委任)	11.9	その他	-	-	
2 国立感染症研究所	-	NATコントロールサーベイ事業(支出委任)	3	その他	-	-	

### B.民間企業

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 ウィップアンドアソシエイツ(株)	7010001143583	虚偽献血等に対する罰則規定導入に関する検討等事業	9.4	随意契約(企画競争)	1	100%	

### C.民間企業

支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 (株)アイネット	5010001067883	献血についての副読本 印刷	8.1	一般競争契約(最低価格)	7	75%	
2 (株)ジェイプロ	8010801005164	献血についての副読本 梱包発送	3.2	一般競争契約(最低価格)	9	84%	
3 (株)伊場仙	3010001080764	七寸五分マロン染骨扇子立てセット 98個	1.4	随意契約(少額)	-	100%	
4 太陽美術	6010601003790	平成28年血液事業報告	1	随意契約(少額)	-	100%	
5 (株)電通	4010401048922	「愛の血液助け合い運動」ポスター制作業務一式	1	随意契約(少額)	-	100%	
6 (株)電通	4010401048922	「はたちの献血」キャンペーンポスター原稿作成業務	1	随意契約(少額)	-	100%	
7 株式会社ペア	1012301009957	中学生用ポスター通信運搬費	0.9	随意契約(少額)	-	100%	
8 (株)一心社印刷所	4010001000721	献血運動推進全国大会プログラム一式	0.9	随意契約(少額)	-	100%	
9 (有限)タケマエ	3010002049767	トナーカートリッジ等	0.9	随意契約(少額)	-	100%	
10 (株)朝日広告社	4010401048922	中学生用ポスター原稿作成業務	0.8	随意契約(少額)	-	100%	

D.日本赤十字社

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	特殊血液調査事業	1.7	随意契約 (公募)	1	100%	-

E.日本赤十字社

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	特殊製剤国内自給向上対策事業	14.8	随意契約 (公募)	1	100%	-

F.一般社団法人日本輸血・細胞学会

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人日本輸血・細胞学会	5010005010014	血液製剤使用実態調査事業	7.4	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

G.合同輸血療法委員会

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	青森県合同輸血療法委員会 北澤 淳一	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
2	秋田県合同輸血療法委員会 面川 進	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
3	山形県合同輸血療法委員会 大本 英次郎	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
4	茨城県合同輸血療法委員会 大越 靖	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
5	長野県合同輸血療法委員会 柳沢 龍	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
6	石川県合同輸血療法委員会 正木 康史	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.5	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
7	兵庫県合同輸血療法委員会 藤盛 好啓	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
8	福岡県合同輸血療法委員会 熊川 みどり	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.5	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
9	佐賀県合同輸血療法委員会 末岡 榮三朗	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	随意契約 (企画競争)	19	100%	-
10	大分県合同輸血療法委員会 佐分利 能生	-	血液製剤適正使用推進普及事業	0.6	随意契約 (企画競争)	19	100%	-

H.民間企業

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)人材バンク	3012401013378	フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口等業務	3.1	一般競争契約 (最低価格)	1	86%	-
2	(株)人材バンク	3012401013378	フィブリノゲン製剤等に関する相談窓口等業務増員	0.3	随意契約 (少額)	-	100%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-	-	-	-	-

費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	I.個人A			J.非常勤職員A		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	委員等旅費	委員会出席旅費	0.1	賃金	非常勤職員雇用	3.8
	計		0.1	計		3.8

## I.委員等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	血液事業部会適正使用調査会(旅費)	0.1	その他	-	-	
2	個人B	-	血液事業部会適正使用調査会(旅費)	0.1	その他	-	-	
3	個人C	-	血液事業部会適正使用調査会(旅費)	0.1	その他	-	-	
4	個人D	-	血液事業部会適正使用調査会(旅費)	0.1	その他	-	-	
5	個人E	-	献血推進運動中央連絡協議会(旅費)	0.1	その他	-	-	
6	個人F	-	第3回血液事業部会運営委員会(旅費)	0.1	その他	-	-	
7	個人G	-	血液事業部会適正使用調査会(旅費)	0.1	その他	-	-	
8	個人H	-	献血推進運動中央連絡協議会(旅費)	0.1	その他	-	-	
9	個人I	-	献血推進運動中央連絡協議会(旅費)	0.1	その他	-	-	
10	個人J	-	第3回血液事業部会運営委員会(旅費)	0.1	その他	-	-	

## J.事務費

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	非常勤職員A	-	非常勤職員給与(賃金)	3.8	その他	-	-	
2	非常勤職員B	-	非常勤職員給与(賃金)	3.7	その他	-	-	
3	(有)タケマエ	3010002049767	消耗品購入	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	八重洲電気(株)	7010001059391	電話機器賃貸借	0.3	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	(有)タケマエ	3010002049767	備品購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	(有)タケマエ	3010002049767	消耗品購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	フェスティーナレンテ(株)	2011401015534	消耗品購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	八重洲電気(株)	7010001059391	電話回線工事	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
9	日本公認会計士協会	7010005002595	図書購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
10	(株)アイ・オー・データ機器	5220001000575	消耗品購入	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-